

情報メディア基盤ユニット

7月14日

最終課題

- 最終課題提出日：7月21日（火）2限（13時30分まで）
- 最終課題提出場所：キャリアポートフォリオ上に提出、プレゼンテーション用のPowerPointは印刷したものも7月21日2限の授業時に提出（キャリアポートフォリオと紙の両方を提出）。
- 提出物：Processingを使って作成した作品、制作した作品の内容を解説したレポート（Wordを使って作成して下さい）、5分程度の作品紹介用プレゼンテーション用PowerPointファイル。なお、提出はこれらのファイルをzipファイルにて1つのファイルとして提出します。

最終課題プレゼンテーション

- 最終課題プレゼンテーションは、最終課題提出者の中からノミネートします。ノミネートされなかった人は、プレゼンテーション採点者として参加することになります。
- 最終課題プレゼンテーション: 7月24日(金) 1,2 限
- 実施教室: K3- 3506
- ノミネート者発表: 7月22日(水)の夕方に発表します。
- 発表時間: 1件5分程度

期末試験

- 7月28日(火)
- 試験の形式: 中間試験と同じ
- 学籍番号のマークを忘れないこと

ファイルからの読み込み

- 17ページから
 1. 一気に読み込む
 2. 1行ずつ読み込む
 3. 1文字ずつ読み込む

- String(文字列)だと思って一気に読み込む
- Stringの配列
- loadStrings(ファイル名)
- サンプルプログラム:12-14
- 数字のデータも文字列だと思って読み込まれる。
- int(文字列),float(文字列)
- int("123")->int型の123
- float("123") -> float型の123.0
- サンプルプログラム:12-15

もうちょっと複雑なファイル

- split関数
 - 20ページ
 - 区切り文字を基準に文字列を分割する
 - `String[] items;`
 - `items = split(“金剛,80,63”,“,”);`
 - `items[0]` : “金剛”
 - `items[1]` : “80” `int(items[1])`-> 80
 - `items[2]` : “63”

ファイルへの書き出し

- P22
- ファイルの保存したいデータをString型の配列に記憶させる
- saveStrings関数を使って保存
- Processing言語
 - 独立した言語みたいな話をしてきました。
 - Processing言語 ⇨ Java言語

オブジェクト指向

- 複数のデータを一つにまとめて扱いたい
 - クラス: 複数のデータを一つにまとめる
 - クラス: 自分で作ったデータ型
 - クラスには名前がついている: 先頭を大文字
 - どんな種類のデータをもっているか: メンバ変数
 - コンストラクタ
 - クラスの中で関数定義が可能(メソッド)

- 機能拡張を容易にしたい
 - プログラムが簡潔になる
 - 継承 (11ページ～)
 - クラスに機能 (メソッド) やメンバ変数を追加する